

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	天理市療育教室 杉の子学級		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日		R7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・杉の子学級は母子通園のため実際に子どもの遊びの姿を見ながら、一人一人の成長した姿や発達について保護者と共通理解がしやすい。	・保護者対象の勉強会を開催したり、保護者同士が自由に話ができるおしゃべり会を行っている。	・未就園の子どもに対しては、成長した姿や配慮してもらう点を就園先に伝え、子ども達がスムーズに入園できるように工夫してきている。
2	・臨床心理士による発達相談事業を1年に1～2回行っている。	・巡回相談事業を行う際には、所属の先生にも連絡し、一緒に参加してもらうことで、子どもの姿に対する見方や考え方を一致していけるようにしている。	
3	・各幼稚園やこども園・保育所・保育園と連携を取ることで園での姿を知ったり、杉の子での様子を伝えたりできる。	・入級している子どもの所属に連絡を取り、園での様子を見せてもらいに行く等の工夫をしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・母子通園であるため、人数が集まりにくい。		・基本は母子通園としながらも、3歳以上児については、保護者の都合が合わない時に限り、母子分離も可能と考えている。
2			
3			